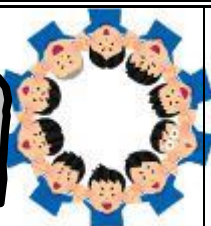


～ かがやく杉谷っ子のために ～

ONE TEAM



島原市立第四小学校
学校だより No.84
令和4年1月25日(火)
文責：校長 大槻浩二

3年生災害学習

1月19日(水)に3年生が災害学習に出かけました。主な見学場所は次のとおりです。

【雲仙岳災害記念館】

- ・災害についての全般的な学習。
(災害の概要、被災状況、火砕流や土石流が発生する仕組み)

【定点・農業研修所】～火山・砂防学習～

- ・災害が起きたところや工事をしているところの見学。

【旧大野木場小学校と砂防みらい館】

- ・火砕流で焼けた校舎の見学。

平成新山の雄大さと共に災害の怖さ、災害への備えなど、体験的な学習はとても大きな学びとなりました。この学びを子どもたちは、しっかりと受け継いでくれるものと思います。



ハイブリット授業と家庭をつなぐオンライン授業

コロナウイルス感染症への対応について、いろいろと準備をしてきました。その一つに臨時休業や児童が長期の自宅待機になった場合の「学びの保障」への対応があります。今回、これまでの研修と準備が生かされました。

様々な理由により欠席した児童には、学校での授業をリアルタイムで配信し、教室にいる場合と同じように授業をしてもらいました。質問に答えるなど、自宅からでも授業に参加し、児童同士のコミュニケーションも図ることができました。

学年や学級閉鎖の場合には、全児童をオンラインでつなぎ、朝の健康観察や集会、担任からの課題指示に加え、問題の解説や質問に答える等を行いました。

何より、子どもたちの不安感を取り除くことに非常に有効的でした。子どもたちは、実に柔軟に対応し、感心しました。保護者の皆様のご協力のおかげです。これからの予測困難な時代を生き抜く子どもたちにとってたいへん貴重な経験になりました。学校で全員そろっての教育活動がもちろん一番ですが、今後もいろいろな授業の在り方を考えます。



ヘルシーJRプロジェクト始動！

1月17日（月）から、昨年度から取り組んでいる「ヘルシーJRプロジェクト」がスタートしました。「JR」とはジャンプ（Jump）ロープ（Rope）の意味で簡単に言うと縄跳びを活用した体力作りです。

縄跳びカードを使った「個人の挑戦」と長縄8の字跳びの「学級での挑戦」に取り組めます。子どもたちも意欲をもって楽しく取り組んでいます。



目的は、次のとおりです。

- ①長縄や短縄をとおして、友だちと楽しく気持ちよく、積極的に体づくりを行う態度を育成すること。
- ②継続的に運動に親しむことで、健康の保持増進と体力の向上を図ることです。

ピンチをチャンスに変える

今回、コロナウイルス感染症が、決して他人ごとではないことを思い知った。

想定はしていたが、世間で子どもの感染が急増する中、

「学校を感染の場にしない」ことの難しさと大変さを知った。

しかしながら、家庭の協力を得ながら、学校内での感染は

防ぐことができた。感謝したい。そして、これからも気を引き締めて継続していく。

子どもたちをつなぐオンライン学年集会の中で、担任から子ども

たちに話をしてほしいという依頼を受けた。

これからの世の中を生きていくには、「ピンチをチャンスに変える発想」が大切だと伝えた。

例えば、今回のハイブリット授業やオンラインでの授業は、現在

行われている在宅ワークにつながるスキルだ。決まった時間に会社

に出勤し仕事をするといったこれまでの働き方は変わりつつある。

また、世の中がピンチになった時には、そのピンチを救う発想が

生まれる。業の開発やワクチンの開発もその一つ。

その発想は、「人」が生み出すものだ。

目の前のピンチにネガティブになることだけで終わらず、誰かを

救う、発想を生み出す人になってほしいと伝えた。

同じことを職員にも話した。

それぞれの職員がそれぞれの立場で、豊かな発想と知恵を出し、

子どもを守り、学びの保障につなげてくれた。感謝と誇りである。

「ただじゃ転ばん」 そんな気概が、人を、学校を強くする。



※ 最前線で働く皆様に感謝しながら自分たちでできる対策を行っていきたい。諸外国との文化の違いを感じますが、「マスク着用」は大切だ！

